

平成30年12月 斐伊川水系水質情報

平成30年12月(宍道湖:11日・中海:10日採水)							単位:mg/l(Chl-a: μg/l)			
項目	層	S-3(宍道湖湖心)			N-6(中海湖心)			米子湾中央部		
COD	全層	4.5	△	平年並み	2.9	○	良好(平年並み)	3.5	△	平年並み
全窒素	上層	0.46	△	平年並み	0.49	△	平年並み	0.61	△	平年並み
全リン	上層	0.072	△	平年並み	0.050	△	平年並み	0.065	△	平年並み
Chl-a	上層	40	△	平年並み	19	△	平年並み	25	△	平年並み
塩化物イオン	上層	2,260	△	平年並み	12,800	×	やや高い	10,200	△	平年並み
	下層	2,440	△	平年並み	14,400	△	平年並み	13,000	△	平年並み
溶存酸素	上層	11.3		平年並み	8.7		平年並み	11.9		
	下層	10.0		平年並み	5.3		平年並み	8.2		

前月との比較		宍道湖湖心		中海湖心		米子湾中央部	
項目	層	前月	前月と比較して	前月	前月と比較して	前月	前月と比較して
COD	全層	4.6	横ばい	3.4	やや下降	4.1	横ばい
全窒素	上層	0.39	横ばい	0.40	やや上昇	0.56	横ばい
全リン	上層	0.040	やや上昇	0.056	横ばい	0.069	横ばい

宍道湖の透明度は0.8mから1.0mにやや上昇したが、先月同様やや悪い。中海の透明度は先月同様1.8mとなっている。米子湾の透明度は1.8mから1.6mと横ばい。

【評価基準】

前年まで過去10年間(平成19年までは5年間とした)のデータについて統計処理を行い、それに基づき下記の表現とする。

1. 水質値について

平均値+標準偏差値の3倍	★	<非常に高い>
平均値+標準偏差値の2倍	☆	<かなり高い>
平均値+標準偏差値	×	<やや高い>
10年間平均値	△	<平年並み>
平均値-標準偏差値	○	<良好> ただし、環境基準値以下の場合は<良好>とする。
平均値-標準偏差値の2倍	○	<やや低い> ただし、環境基準値を下回らない場合は△で<やや低い>とする。 (塩化物イオン)
平均値-標準偏差値の3倍	◎	<かなり良好> <かなり低い> (塩化物イオン)

2. 水質変化について

前月値±標準偏差値以上、以下の変化…… 上昇、下降

前月値±標準偏差値の1/2以上、以下の変化… やや上昇、やや下降、横ばい

前月値±標準偏差値の1/2以内の変化… 横ばい

注) 平均値±標準偏差値 …… 全体のおよそ 68.2%

平均値±標準偏差値の2倍… 全体のおよそ 95.5%

平均値±標準偏差値の3倍… 全体のおよそ 99.7%